第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：四元 清安／副会長：大久保 厚司／幹事：前田 眞澄

2012～2013年度クラブスローガン

集う仲間への感謝・新しい出会い
友情の輪がロータリーの力

RI 2012～2013年度テーマ
奉仕を通じて平和を

〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

本日の出席率７０．０７%: 会員数４２名・出席２８名・欠席１２名・出席規定免除会員（２） １名・ビジター１名
前々回の修正出席率１００%: 出席３２名・メークアップ８名・出席規定免除会員（２） ２名

会長挨拶／四元 清安君



皆さん今晩は、いまだ残暑厳しい日中ですが、、朝夕はめっきり涼しく感じることが多くなりました。

ロンドンで開催されていた、パラリンピックも終わり、日本勢は金5個・銀5個・銅6個と活躍をしました。体のいずれかにハンディを持つ方が、そのハンディをもろともせず活躍する姿は感動モノでした。

また、教育評論家の「尾木ママ」、こと尾木直樹氏は、幼いころより学校で「いじめ」にあっていたそうです。何故一番嫌いだった学校の教師になったかというと「母のそういうあなただからこそ子供の心がわかる教師になれるのではないか」という一言で教師の道に進んだそうです。難しいこととは思いますが、いじめの問題には「教育現場」も勿論のこと親も子供も一層取り組む必要があるのではないでしょうか。子供の自殺者が2011年過去最高の小中高生合わせて200人も出たということで「いじめ」の問題はいっそう深刻化しているようです。これ以上いじめで犠牲者を出したくないものです。「教育」というものを「もう一度」真剣に考える時期に来ているように思います。ロータリーで言う「新世代奉仕委員会の活動」とは違うかもしれませんが、「青少年の教育」のあり方を検討していくことは、これからのロータリー活動にも役に立つと考えています。

雑学ですが、「女心と秋の空」という言葉は、大正時代ヒットした「女心の歌」の喜怒哀楽の感情の移ろいやすさを歌った歌詞からきているそうです。また「男心と秋の空」という言葉は、歴史的に江戸時代に定着したといわれ、室町時代の狂言「男心と秋の空は一夜に七度変わる」という言葉によるものとされています。歴史的には男心が定着したのが古いとされていますが、「男心」も「女心」も恋愛感情の移ろいやすさを表現しているようです。秋の夜長、酒を飲める人も、飲めない人も、「チョイと一杯」という雰囲気で、しっかり会員同士のコミュニケーションを計り、大切にしてロータリー活動にご協力をお願い致します。

本日のビジター紹介

佐世保東ロータリークラブ　　田中　純智男様

Report 幹事報告／前田 眞澄君

1．例会変更
有田ロータリークラブ
10月 9日（火）18：30～ かむら 観月例会のため
10月16日（火） 休会 定款第6条第1節より
12月18日（火）→12月19日（水）18：30～
ハウステンボス ホテルヨーロッパ
クリスマス親睦家族会のため

2．来　　信
・国際ロータリーより
未来の夢計画への移行について
・ガバナー事務所
①社会奉仕セミナープログラムについて
2011～12年度社会奉仕事業実施集計
2012～13年度社会奉仕予定事業アンケート集計
②2012～13年度ロータリー財団・第1回地区補助金セミナーのご案内
日時 10月21日（日）13：00～
場所 西九州大学 神園キャンパス
③地区名簿データ最終確認のお願い

3．伝達・通知
《 9月6日開催 第３回理事会承認事項報告 》
○納涼家族例会事業報告並び決算が審議承認されました。
参加人員 63名 事業費 346，100円
（内親睦活動委員会費支出32，959円）
○指名委員会発足が承認されました。
構成メンバー
指名委員長 田代博之直前会長
指名委員 四元清安会長・西村浩輝会長エレクト
長富寿人パスト会長・松尾英機パスト会長
指山康二パスト会長・井上亮パスト会長

週報制作：出席・会報委員会／馬場 貴博、芥川 浩一郎、崎元 英伸、川島 千鶴、宮崎 正典、香月 章彦

田雑豪裕パスト会長　　計 8名
第1回指名委員会開催 9月27日（木）

○社会奉仕委員会「東日本大震災復旧・復興支援チャリティーバザー」開催が承認されました。
日時：平成24年11月24日（土）12時～
場所：四ヶ町アーケード 親和銀行本店前

○9月20日 第2740地区第6グループ 山口二郎ガバナー補佐訪問例会について
当日は食事を12時からお出し出来るようにしておきますので、いつもより若干早めに例会会場へお越しいただき、12時30分までに食事を済ませていただきますようお願いいたします。クールビズの期間では有りますが、当日はネクタイ着用でお願いいたします。山口二郎ガバナー補佐訪問例会を100%出席例会としたいと思いますので皆様の出席ご協力をよろしくお願いいたします。

committee 委員会報告

坂井智照 地区社会奉仕委員長
RI第2740地区社会奉仕委員長より、ご報告します。数多くのロータリー財団地区補助金申請の中で、当佐世保中央RCが選ばれ、高い評価をいただいております。是非、長崎県立佐世保特別支援学校との奉仕活動を成功し、有意義な手と手をつなぐ「力」を出される事をお願いいたします。

八重野一洋 クラブ管理委員
本年4月に釜山蓮山RCへ訪問した際に、釜山近郊にあるエディオンRCの文会長より姉妹クラブを作りたいので、佐世保市内のRCを紹介して欲しいと依頼がありました。帰国後すぐに佐世保東南RCの池田会長へ相談を持ちかけたところ、会員総意を得て引き受けていただきました。中野地区幹事にも相談したところ、縛りがない友好クラブより始めたらどうでしょうかとのアドバイスで両RCの了承を得ました。9月24日から26日に釜山に行き、友好クラブ締結に向けて、佐世保東南RC会員7名、四元会長、前田幹事と共に会議へ参席して参ります。

(^_^) ニコニコボックス

佐世保東ロータリークラブ　田中純智男様
お世話になります。

四元清安会長、大久保厚司副会長、前田眞澄幹事
9月11日（火）会員の奥様方のコーラス「コスモス」の練習に表敬訪問に行ってまいりました。歌に加えて坂井会員の娘さんの指導で手話を取り入れていました。恐るべきコーラスグループ「コスモス」です。確実に成長しております。影ながらサポートしたいと思います。
本日の卓話、佐世保市教育委員会 青少年教育センター 所長 田口哲久様、主査 木原真一様、宜しくお願いいたします。

福田英彦君
佐世保東RCの田中純智男先生のご来訪を歓迎いたします。

富永博美君
9月22日より2年ぶりのバザーを開催いたします。皆様ご多忙とは思いますが、大処分をしますので、こぞってご来社いただきますよう宜しくお願いいたします。

池永隆司君
クラブ管理委員会 八重野一洋君、ロータリー情報お疲れ様です。

本日の合計	11,000 円
本年度の累計	265,000 円

本日の卓話

■ゲスト卓話■

佐世保市教育委員会　青少年教育センター
所長　田口 哲久様



それでは、改めまして皆さん今晩は。私は今ご紹介いただきました佐世保市青少年教育センター所長の田口と申します。隣にいますのは木原です。こういう機会を今回いただき、非常にありがたく思っております。短い時間ではございますけれども私どもが今取り組んでいること、いろんな思いをお伝えしたいと思っております。今日は私の方から市内の小中学校の不登校の現状ということを最初お話しさせていただき、そのあと木原の方から、青少年教育センターの中には不登校対応ということで学校適応指導教室がございます。その紹介をさせていただきます。

市内小中学生の不登校の現状は、年間で病気や経済的理由以外に30日以上の欠席をする児童及び学生を不登校の定義としておりますが、それは、なんだろうといいますと学校が原因であろう・・・と一般的に思われ、普通、学校に問題があるのでは？今いじめが原因であるのではと思われています。お手元の資料をご覧いただきたいのですが、学校にも問題がありますが、それ以外に家庭的な問題や本人にかかる心因的なものや情緒不安定な問題を抱えている事が逆に多いようです。

子どもから、家庭・地域の両方からの2つの視点から見てみると、小さい時から外で集団で遊ぶ経験が減り、ガキ大将と呼ばれる存在がいなくなり、社会性や集団行動のルール、けんか、仲直りなど友人とのトラブルがあった場合に対応出来ない子どもたちが増え、集団にいると疲れたり、ストレスが溜まって

いる現状です。

またあまりほめられた事が無い事やあなたはダメねとか兄弟での比較をされ、自尊感情が低いとみられます。小さい時から我慢する経験が少なく、勉強がわからない、クラブ活動についていけないなど、我慢が足りなくなった事も誘因となっています。

友人関係のトラブルや困難な事から逃げ出したり回避しようとして、不登校になっています。あそびや非行、無気力も同じ背景があります。

家庭や地域の視点から見て行くといくつかの傾向がみられますのでお話させて頂きます。それは、夫婦の不和、子育て方針の違いが子どもを混乱させたり、父親が異常に厳しかったり、大げさかもしれませんが職場でのストレスを家庭に持ち込み子どもが委縮したり、父親が母親任せだったり、母親のせいにしたりしているのが多くなっているようです。

ここで見えてくるのが、母親が子育てで孤独になっています。昔は、相談できるご近所づきあいや相談する相手がいて解決出来ていましたが、現代ではいない、近所づきあいがない、友人、親戚等地域や人間関係の薄れがあげられます。また母子家庭の多さ、少子化や核家族で、子どもと接する大人がいない為、子育てが十分に出来ていないと思われます。

ある事例です。当センターの職員が家庭訪問をしました。コンビニの店員さんがおっしゃっていましたが、熱帯夜の時にコンビニにやってきて、10分程いて帰って行き、クーラーの下で涼んだりしていて、別に買い物するわけでなく話を聞くと経済的な問題で、夜お母さん方が時給がいい仕事に働きにでていて、子どもがひとり留守番している。こういった事が起きています。生活のリズムが崩れ、食事は作っても朝起きられないなどお母さんが疲れうつ病になってしまい子どもにも影響が出ています。

親の孤独、経済的な悩み、母親のうつ病から子どもが不安になり、最近では子どものうつ病も増えており、これが今一番の問題になっています。学校では、教員が不登校に対する研修を積み、早期発見、早期対応に努めています。また行政側は、スクールカウンセラーや学校適応指導教室、市の他の部局との相談体制の充実や母親支援サービス、生活保護を含めた経済的支援を取り組んでいます。

ロータリークラブは、社会奉仕や地域社会の再構築、地域の絆を深める活動に取り組んでいらっしゃるということで、是非地域で子どもを見守り、支援することにお力をお借りしたいと思っております。

それでは、佐世保市内の現状でございます。
このあとは、適応指導教室（あすなろ教室）の紹介を木原真一主査からお話させて頂きます。

佐世保市教育委員会　青少年教育センター
主査　木原 真一様



私は、適応指導教室「あすなろ教室」のご紹介をさせていただきます。私は元々中学校の教員で、今現場を離れ不登校のこどもたちの対応等をさせていただいております。担任はしておりません。保立町と思われていらっしゃいませんか？この地図にもありますように平瀬町にあります。ニミッツパーク近くの温水プールの前の看護学校横、白い建物にありますので、覚えていただけたらと思います。

青少年教育センターとは、
①教育相談業務として、来所相談・愛のテレホン等で対応しています。
②補導業務は、一般補導。特別補導や「愛のひと声」
③学校適応指導教室（あすなろ教室）の運営で子どもたちとラジオ体操やボランティアの地域清掃、自習時間や学習活動を行っており、不登校児童の通級指導・メンタルフレンズ事業を行っています。
④環境浄化活動では、白ポスト回収・立入調査・センターだよりの発行。
⑤学校教育課所属のSSW（スクールソーシャルワーカー）の派遣を行っています。

佐世保市内の不登校児童数は、年間30日以上の欠席が、平成23年度で小学校47校のうち45人、学校に1人、中学校で220人、約学年に1人の割合で合計265人の児童がいます。

学年別不登校児童生徒数は、中学校の環境等に適応できなくなり、不登校になってしまいます。中学生が最も多く、中1で55人、中2で81人、中3になると84人となっていますが、見落とせないもが小学2年生や3年生からすでに不登校になっている児童も現状です。中学生は減りつつありますが、小学生がぐんと増えて来ている状況です。

昨年度は、小学生5名、中学生54名の計59名が、あすなろ教室へ通って来ておりました。あすなろ教室の日課表です。このような形で学校と同じ様に時間割を組んで、ただ来て時間を過ごすのではなく、なんらかの形で授業と言う形で学習活動を支援しております。基礎的な国語や数学、英語等の基礎中の基礎の授業を行っています。活動の支援を行っています。がんばるタイムは、自分で学習する自主学習の時間として取っています。わかたけタイムは、個々の様々な活動を行っています。具体的に言えば、1対1の活動のオセロや将棋のふれあい活動、スポーツ、諸活動として音楽や美術選択しております。水曜日のチャレンジタイムは、「学校へ行ってみようね」ということで行ける子行けない子がいますが、週に1回心の背中を押しております。

学校へ登校するための取り組みをご紹介致します。 不登校の子たちは、 昼夜逆転している子どもたちが多いんです。 まずそのため生活リズムを取り戻す。 そして体験活動を基に協力する姿勢を養う。 自から学ぼうとする姿勢を養う。 自己表現力を養う。 こういったことを通して学力向上、 体験学習、 そして11月には学芸会を行い、 自信をつけ自立する形で、 最終的に学校へ復帰できるように支援致しております。

写真をご覧ください。 朝のウォーキングで駅裏を歩いています。 ラジオ体操という形で屋上で太陽の陽を浴びながら行っています。 体験活動でクリーンハイキングと致しまして清掃活動をしながらハイキングをしてゴミを拾う奉仕活動も行っています。 体験活動として他に野外宿泊活動で青少年自然の家での宿泊学習をしており、 飯合炊飯で調理実習でカレーを作ったり、 沢登りをしたりして子どもたちにいろんな体験活動をさせております。 作業で畑作りや水やりをしたり、 スポーツでは野球の指導やバドミントンやバレーなど身体を動かしていると楽しそうに笑顔が出ています。

学習活動では、 基礎学力を身につける為、 国語で漢字を書いたり、 数学をしたり、 月1回市立図書館で好きな本を読んだりして学習活動を行っております。 6 .29佐世保空襲の日には旧戸尾小学校で説明を受けたり、 弓張岳の砲台跡に出かけました。

自主表現力を養うという事で、 陶芸、 音楽活動、 ダンス、 書道、 トータルペイントなど活動するだけでなく、 発表しようという事で3年前より学芸会を実施致しております。 陶芸活動では、 先日焼き物をして焼きあがっています。 ギターやドラムの演奏でバンド演奏、 隣の体育館を借りてダンス等をしたりしています。

何故このように学芸会を実施するのかとゆう目的ですが、 やはり子どもたちに達成感を味わって欲しい。 出来るんだやれるんだという自信を持たせ、 学校復帰につなげたい。 自己表現力を向上させたい。 ありがとうという言葉がなかなか言えないので、 感謝の気持ち持つだけでなくそれを伝えるという心を養いたい。

あすなろ教室への理解。 まだまだあすなろ教室を知らない教職員もいるので、 広めていきたい。 学芸会の展示作品に陶芸を作品展示、 カッターシャツでリサイクルエプロンを作ったり、 パワーポイントを使って、 普段の学習や授業の様子についての発表、「感謝」というテーマで大変お世話になっている方へ感謝の気持ちを伝えようと作文を発表しました。
不登校というと少し暗いイメージを持たれるかと思いますが、 子どもたちの表情を見て頂くと笑顔でとか頑張っている姿がおわかりいただけるかと思います。

最後に子どもたちの笑顔や生活ぶりを映像でご覧頂きたかったのですが、 パソコンの不具合でご覧頂けずに残念です。

最後に一つお願いがあるのですが、 写真にあったように元気にあすなろ教室に通っている子はまだいいのですが、 佐世保市内200名近くの子どもたちが学校やあすなろ教室へ通えない子どもたちがいます。 そういった子どもたちに各地域でこういった「あすなろ教室があるんだよ」といろんな形でお伝え頂ければ非常にありがたいなと思っております。 どうぞこれらの活動をご理解の上、 今後とも御支援御協力をお願い致します。 どうもありがとうございました。



memo

SAA：長富寿人君
次回例会／9月20日12：30～
次回献立／幕の内弁当